

〈別紙〉

りんご輸出チャレンジャー報告（氏名小山内和好）

プロフィール	<p>岩木川の恵みを頂き、岩木山を見て春夏秋冬を知り、りんごと語り、りんごをお嫁に出す事35回、快晴有、嵐有、涙有、喜び有、幸福有の中で、りんごづくりに励んできた小山内和好りんご園です。お客様に満足できるものをいかに提供できるかを常に考え、日頃から、自分の考えていることを消費者の方に分かってもらうため、これまで、対面販売を多く行ってきました。対面販売では、青森県のすばらしい自然や環境、りんごづくりに適した気候など、ふるさと津軽を自信を持って紹介しております。</p>
経営の特徴	<p>8月中旬の「ちなつ」から始まり、多種多様な品種を栽培しております。販売面では、御中元や贈答、大都市における対面販売を主に行っております。また、加工品では、りんごの果肉とジュースと一緒に楽しめる飲み物や、ジャム、カットりんご、りんご以外でも、プルーンのジャム、さくらんぼのシロップ詰、栗の真空パックなど、自分の畑で栽培されるものを商品化して販売しております。</p>
輸出取り組みの抱負	<p>2月初めに、KAIRON ASIA COMMERCEという業者を紹介され、そこを通して、現在、香港や台湾にジュースやジャムなどの輸出を行っております。まだ少量ですが、徐々に増えてきており、最終的には、りんご自体を輸出できたらと思っております。</p>
現在の作業状況	<p>11月末から3月初めにかけて、全国各地でりんごやジュース、ジャムなどの販売を行いました。大変好評でした。</p>  <p>東京ドームプリズムホールでの販売風景</p>
今年のリんごの作柄	<p>例年よりも開花が早く、大玉傾向であったため、収量は前年対比120%以上と豊作でした。11月初めの低気圧の影響で、多少落果や傷害果が見られ、また、収穫の遅かった園地ではつる割れも若干見られたものの、総じて、蜜の量も多く、糖度も十分で美味しいりんごに仕上がりました。</p>